

1. 科目名 (単位数)	比較日本文化論 (2 単位)		3. 科目番号	EIJP2382
2. 授業担当教員	大橋 真由美			
4. 授業形態	講義、ディスカッション		5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係				
7. 講義概要	<p>世界には多くの文化が存在し、文化間で共通性もあれば、固有性や多様性もある。国際化が進む日本文化の多様性を理解するためにも、他文化との比較を通して、その特徴を捉えることが必要になる。また、文化の内外から日本文化を捉えなおす視点も、日本文化を理解するためには重要になる。</p> <p>本講義では、受講生自身の出身やその他の国や地域の現状と比較しながら、日本文化の特質や日本人のアイデンティティについて、考えていきたい。</p>			
8. 学習目標	<p>1. 日本文化について、客観的に考えることができるようになる。</p> <p>2. 日本人のアイデンティティの形成について理解することができるようになる。</p>			
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	<p>1. 各回ワークシートを配布し、それに沿ってペアワーク、グループワークを行いながら授業を進める。ペアワーク、グループワークの内容は授業後にワークシートにまとめ、授業の感想とともに次回の授業で提出する。</p> <p>2. 身近な日本語非母語話者に日本や日本人、日本語についてインタビューを行い、その内容を発表する (第8回)。発表後、インタビュー内容に考察を加え、レポートにまとめて提出する。</p> <p>3. 指定した日本文化論、比較文化論に関する文献を一冊選んで読み、その内容や感想をまとめて発表する (第14回)。発表後、読書感想文として本の内容、感想をレポートにまとめ、提出する。(第15回)</p>			
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】各講義で資料を配布する。</p> <p>【参考書】池田雅之・瀧澤正彦編著『比較文化のすすめー日本のアイデンティティを探る必読 55 冊』成文堂、2012 年。剣持武彦『言語生活と比較文化』朝文堂、1995 年。※適宜、授業内で紹介する。</p>			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準 (学習目標)</p> <p>1. 日本文化について、客観的に考えることができたか。</p> <p>2. 日本人のアイデンティティの形成について理解することができたか。</p> <p>○評定の方法</p> <p>1. 授業態度 20% : 積極的な参加。私語、居眠り、飲食、携帯電話などの使用は厳禁。</p> <p>2. 小レポート 40% : 授業の感想、随時課す課題の内容と提出期限の遵守により評価。</p> <p>3. 試験 40% : 基礎知識などの習得の程度により評価。</p> <p>なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の修得は原則として認められない。</p>			
12. 受講生へのメッセージ	<p>日本文化を他文化と比較し、外から日本文化を眺め、客観的に捉え、日本文化の特質や日本人のアイデンティティについて、クラス全体で考えていきたい。</p> <p>ペアワーク、グループワークを行いながら授業をすすめるため、事前・事後学習はしっかり取り組むこと。</p>			
13. オフィスアワー	初回の講義で通知する。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第 1 回	オリエンテーション、比較文化とは何か	事前学習	今までカルチャーショックにどんなものがあったか、これまでの経験を振り返っておく。	
		事後学習	身近な日本語非母語話者に日本、日本人、日本語、日本文化についてインタビューする (第 8 回で発表)。	
第 2 回	日本語と日本文化 : 日本語の発想	事前学習	日本語にはほかの外国語と比べ、どんな特徴があるか、考えてくる。	
		事後学習	ワークシートをまとめる (次回授業で提出)。	
第 3 回	日本人のコミュニケーション : あいづち、談話構造	事前学習	日本人にとってあいづちはどんな意味があるのか、日本人の談話構造について考えてくる。	
		事後学習	ワークシートをまとめる (次回授業で提出)。	
第 4 回	日本人のコミュニケーション : 話しことば・書き言葉、気配り	事前学習	日本人がコミュニケーションでどのような気配りをしているか考えてくる。	
		事後学習	ワークシートをまとめる (次回授業で提出)。	
第 5 回	日本語と比較文化 : 日本人の間とリズム、「にじみ」「ぼかし」「折りめ」「けじめ」	事前学習	日本人にとって「間」とはどんなものか、「にじみ」「ぼかし」「折りめ」「けじめ」とは何か考えてくる。	
		事後学習	ワークシートをまとめる (次回授業で提出)。	
第 6 回	言語生活と比較文化 : 日本人と音、「腰」と坐	事前学習	日本人はどのような音を気にするのか、日本人にとって「腰」とは何か考えてくる。	
		事後学習	ワークシートをまとめる (次回授業で提出)。	
第 7 回	日本の構造 : タテかヨコか	事前学習	日本は「タテ社会」か、それとも「ヨコ」の構造なのか、それぞれどのような考察が可能か考えてくる。	
		事後学習	ワークシートをまとめる (次回授業で提出)。	

第 8 回	インタビュー発表	事前学習	インタビュー内容をまとめ、発表準備する。
		事後学習	発表内容をレポートにまとめる。
第 9 回	比較文化としての日本人論：甘え、美意識、宗教観	事前学習	「甘え」とは何か、定義を考えてくる。自分は宗教についてどんな考えを持っているか、整理してくる。
		事後学習	ワークシートをまとめる（次回授業で提出）。
第 10 回	日本のアイデンティティと基層文化： 日本人の「あの世」観、大衆文化	事前学習	大衆文化にはどのようなものがあるか、考えてくる。
		事後学習	ワークシートをまとめる（次回授業で提出）。
第 11 回	「危機」の中の文明と文化：東日本大震災、原発報道	事前学習	東日本大震災時、自分や周りの行動、またどのような報道があったか、振り返っておく。
		事後学習	ワークシートをまとめる（次回授業で提出）。読む本を決める（第 14 回で発表）。
第 12 回	動物説話の国際比較①「うさぎとかめ」	事前学習	事前配布資料（民間説話資料）を読んでくる。
		事後学習	ワークシートをまとめる（次回授業で提出）。
第 13 回	魔法説話の国際比較②「シンデレラ」	事前学習	事前配布資料（民間説話資料）を読んでくる。
		事後学習	ワークシートをまとめる（次回授業で提出）。
第 14 回	日本人文化論・比較文化論文発表	事前学習	読んだ本の内容、感想を整理し、発表準備をする。
		事後学習	他の学生の発表文献についての感想、コメントをまとめる（次回授業で提出）。
第 15 回	これまでの内容の振り返り、レポートの準備	事前学習	これまでの学習内容を振り返り、まとめておく。
		事後学習	レポート（読書感想文）を作成する。
期末試験			